

建設業者に対する労働災害防止講習会を開催しました！

～高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力で ゼロ災害～

新見労働基準監督署

新見労働基準監督署（署長 諏訪雅浩）は、6月27日に新見地域の建設業者を対象に、労働災害の撲滅を目指して、新見市総合福祉センターにおいて労働災害防止のための講習会を開催しました。

今年、管内の建設現場において重篤な労働災害が続いていることから、「全国安全週間」（7月1日から7日の間）の準備期間に合わせて、建設業関係者に対する労働災害防止講習を行ったものです。



新見労働基準監督署長
諏訪雅浩

開会のあいさつ

新見労働基準監督署
産業安全専門官
片島伸司

労働災害発生状況、改正労働安全衛生規則（鉄骨切断機等が法規制対象に）、熱中症対策などについて、説明を行いました。





日本労働安全衛生コンサルタント会
岡山支部長 大森 俊彦 氏

「労働災害の防止対策～建設現場の具体的な労働災害防止対策～」と題して、建設業三大災害（墜落・転落、建設機械、土砂崩壊）の災害防止を中心に、災害事例を交え、具体的な再発防止対策等についてご講演されました。



当日会場入り口前において、日本労働安全衛生コンサルタント会岡山支部による「総合相談コーナー」が開設され、専門家による無料の個別相談会が行われました。

参加した安全担当者等から、安全活動の進め方や建設工事現場の安全衛生管理に関する具体的な相談等があったようです。